

利根川の生き物について

五年 磯山 勇磨

ぼくは、利根川の生き物について調べました。調べた理由は、ぼくが住んでいる利根川の下流域と、上流域では、どのような違いがあるかを知りたいと思ったからです。

まず最初は、利根川にすんでいる動物です。上流域では、ツキノフグや、ニホンザル、ニホンジカなどの大型植が生息します。中流域や下流域では、キツネやタネキ、ノウサギ、

アズマモグラなどが生息しています。外来種では、ヌートリアや、マスワット、ウシガエリなどが生息しています。上流域には、ツキノフグや、ニホンジカが生息している。ぼくの住んでいる坂東市の様子からは考えられなものでしてもおどろきました。ヌートリアは、つい先日、さげんな外来生物としてテレビで観たばかりなので、身近な利根川にも生息しているかも知れろきました。

次は、鳥類です。鳥類で、上流域と下流域

で生息する種類が異なります。上流域には、オオワシ、イネワシ、ワエタカとする猛禽類やイワヒバリ、ホツガラズといった高山性の鳥類が生息すると分りました。中流部以降では、スズメやホオヅクなどごくありふれた鳥類が生息します。四年生の総合の時間でも野鳥について学習したので、機会があれば目吹橋の近くでも観察してみたいです。

最後は魚類です。上流ではイワナ、ヤマ、カヅカが主に、中流ではオイカワ、コ

イ、ギンブナ、モツゴ、ウナギなどが生息しています。下流では、ボラ、スズキ、ハゼ、カタクチイワシなどが生息します。利根川にもいろいろな種類の魚がいることを知ったので、利根川の近くに行ったらさがしてみたいです。

ぼくは、利根川について調べ、利根川にいる生き物を好きになりました。今、機会があるれば、また利根川について調べて見たいです。